

⑩ 婦中

図 II-85 学級数・児童生徒数

小学校名 (7校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
速星	3	97	4	110	3	101	4	124	3	121	4	139	21	692
鶴坂	4	108	4	137	4	132	4	131	4	145	5	170	25	823
朝日	1	10	1	16	1	12	1	12	8	1	3	5	61	
宮野	2	60	2	55	2	55	2	47	2	48	2	47	12	312
古里	1	27	1	31	1	32	1	38	1	33	1	29	6	190
音川	1	9	1	13	1	8	1	12	1	16	1	13	6	71
神保	2	36	2	40	2	43	2	41	2	52	1	34	11	246

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。
 ※朝日小は5・6年生で複式学級を編制。

中学校名 (2校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
速星	9	330	9	333	9	348	27	1011
城山	3	94	2	73	3	93	8	260

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。

出典：「富山市の教育」（富山市教育委員会、令和3年9月）

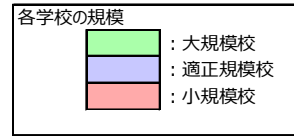
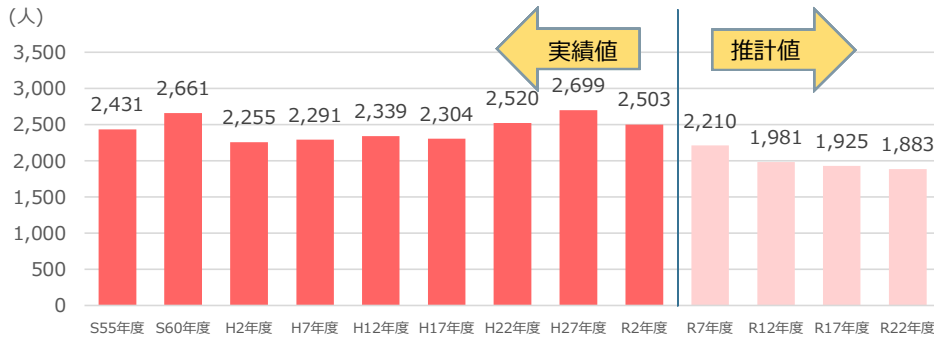
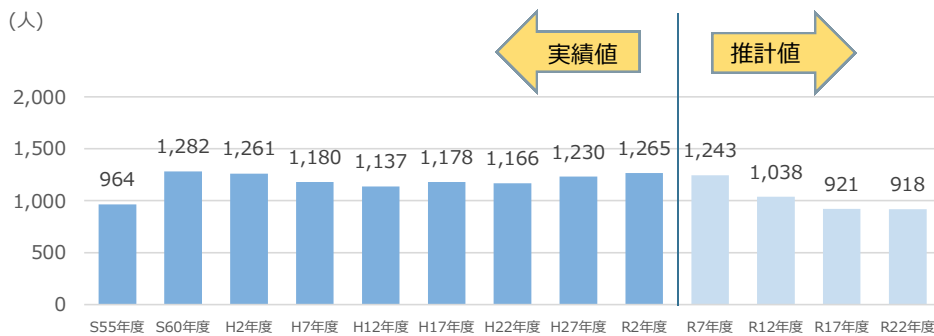


図 II-86 小学校児童数推移



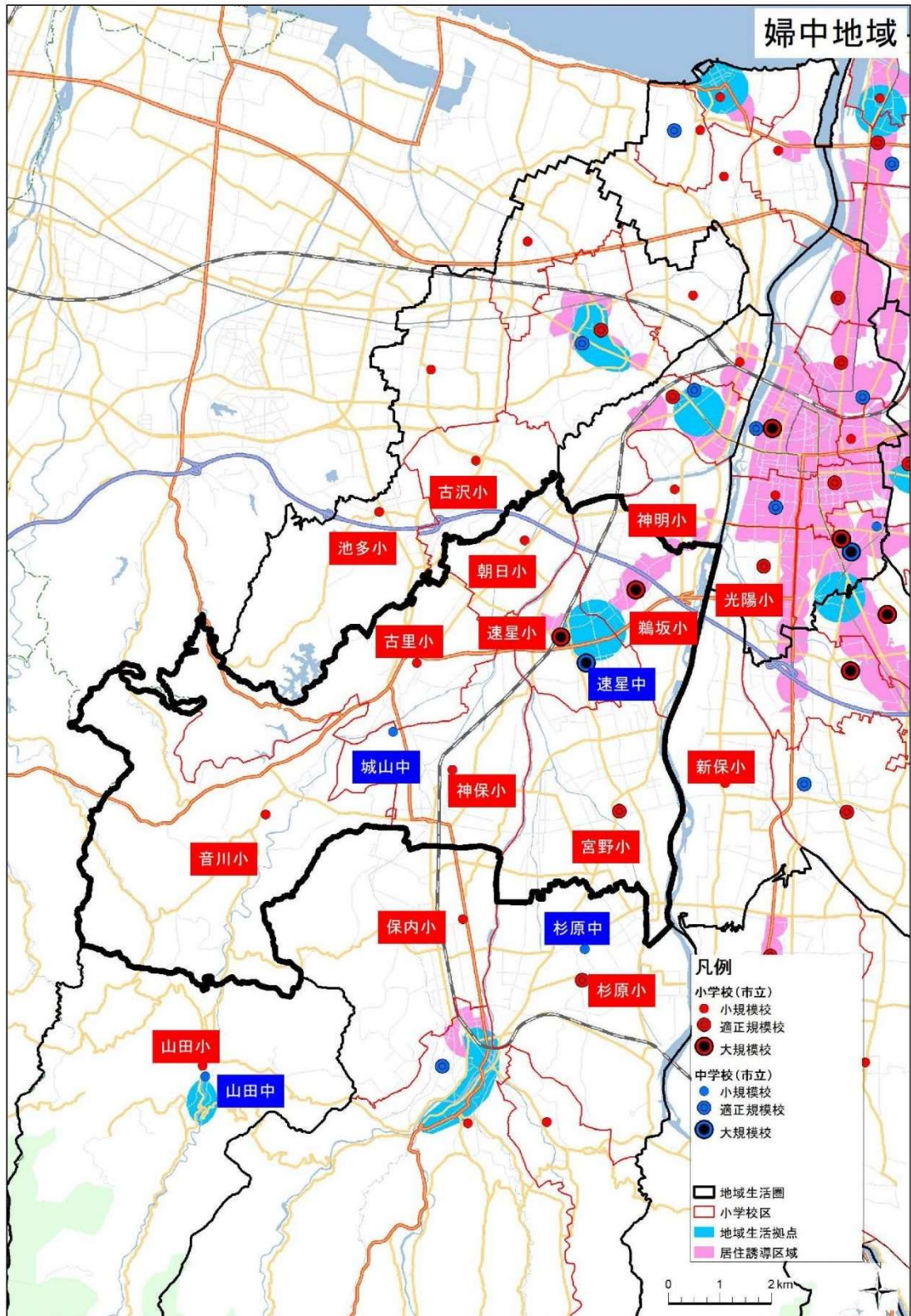
出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

図 II-87 中学校生徒数推移



出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

図 II-88 学校位置図



※学校規模は令和3年5月1日時点

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

- 朝日小学校〔速星中〕
児童生徒数：61人
学級数：5学級(小規模校(複式学級を含む))



再編対象校と組み合わせる学校

- 速星小学校〔速星中〕
児童生徒数：692人
学級数：21学級(大規模校)

再編先学校

現 速星小学校〔速星中〕

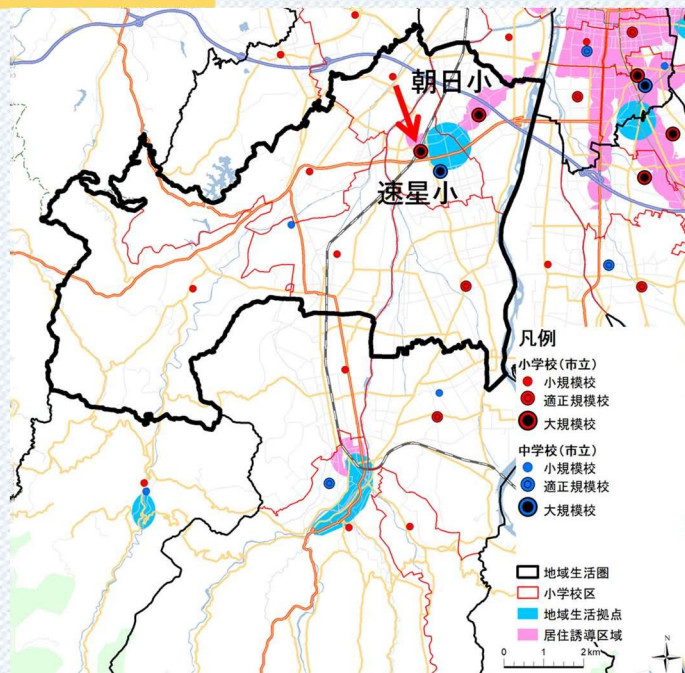
※〔 〕内は進学先中学校

※()内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4(1)、(3)及び(4)に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数(「富山市の教育」)

該当する地域生活圏及び小学校区

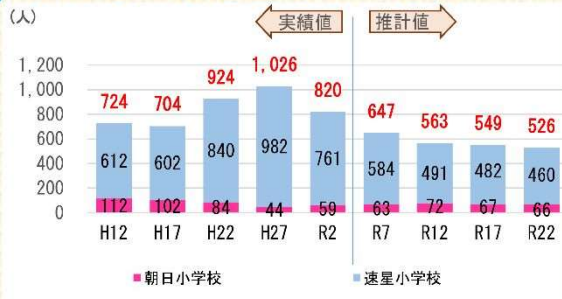


※学校規模はR3.5.1時点

本計画	No.25
再編原案	婦中-1

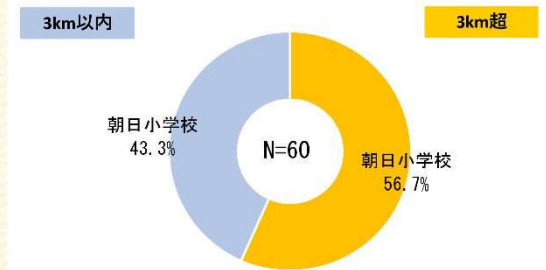
再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1 (建築年数12年)	-	A	A	A	A	A
校舎2 (建築年数7年)	-	A	A	A	A	A
校舎3 (建築年数2年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数30年)	-	B	B	B	B	B

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 （洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12年は大規模校となるが、その後令和17、22年は適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】概ね良好である。
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）内に位置する。

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

- 古里小学校〔城山中〕
児童生徒数：190人
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))
- 音川小学校〔城山中〕
児童生徒数：71人
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))



再編対象校と組み合わせる学校

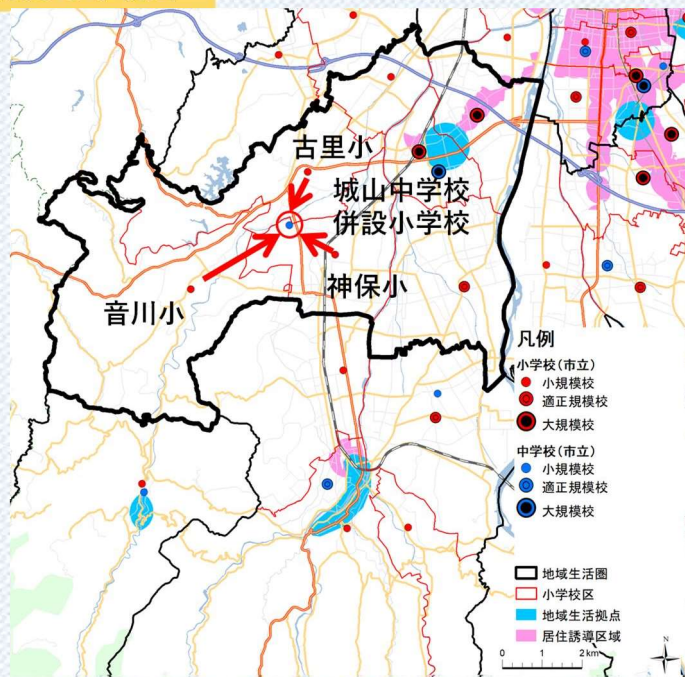
- 神保小学校〔城山中〕
児童生徒数：246人
学級数：11学級(小規模校)

再編先学校

現 城山中学校併設小学校〔城山中〕

※〔 〕内は進学先中学校
 ※()内は学校規模
 ※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4(1)、(3)及び(4)に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数(「富山市の教育」)

該当する地域生活圏及び小学校区

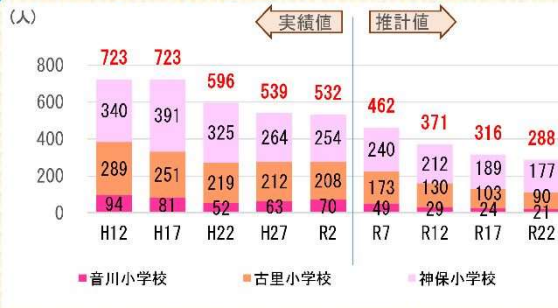


※学校規模はR3.5.1時点

本計画	No.26
再編原案	婦中-2

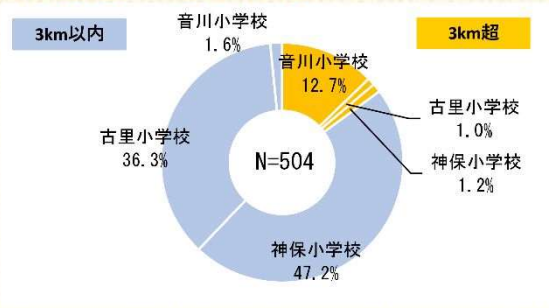
再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模改造済	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
-						
-						
-						
-						
-						
-						

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第2次避難所
 （洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

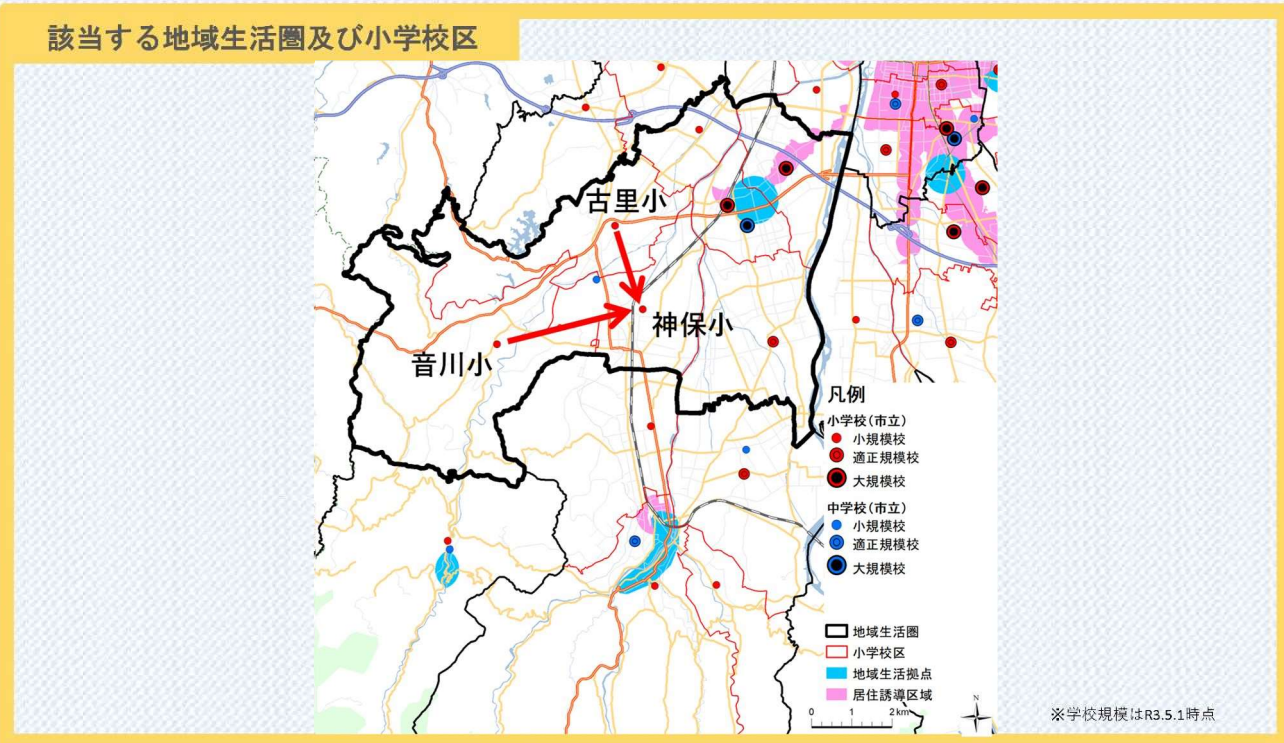
コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数が充足するよう小学校棟の増築が必要となる。
- 【施設健全度】-
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）外に位置する。農用地区域からの除外が必要となる可能性がある。

再編する学校の姿



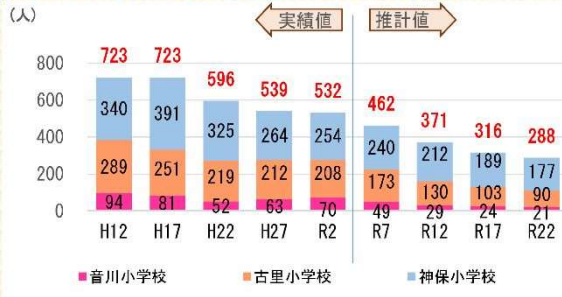
※〔 〕内は進学先中学校
 ※()内は学校規模
 ※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく
 ※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）



本計画	No.27
再編原案	婦中-3

再編後の概況

再編後の児童生徒数の推移



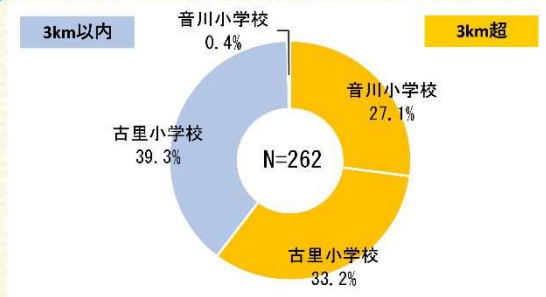
※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の学校規模(学級数)



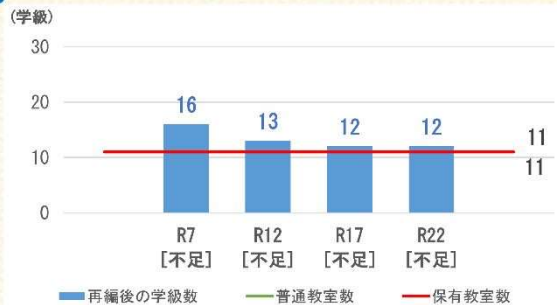
適正規模: 学級数が12学級以上18学級以下
 大規模: 学級数が19学級以上
 小規模: 学級数が11学級以下
 ※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳(令和3年8月時点)に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の教室充足状況



充足: 再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を下回っている。
 不足: 再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を上回っている。
 ※保有教室数: 普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数35年)	○	A	C	A	A	A
体育館 (建築年数38年)	-	B	B	B	B	B

A: 概ね良好
 B: 部分的に老朽化(安全上、機能上、問題なし)
 C: 広範囲に老朽化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
 D: 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)
 ※富山市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 (洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所)

※富山市避難所一覧(令和3年5月24日更新)

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は不足しているため、増築等の対応が必要となる。
- 【施設健全度】一部老朽化が進んでいる。
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域(立地適正化計画)外に位置する。農用地区域からの除外が必要となる可能性がある。